

令和元年度

全国老人福祉施設研究会議

愛媛会議

開催期日

令和元年

10/29火 ▶ 30水

開催地

愛媛県松山市

(松山市民会館 他)

あなたが創る

共生社会

— 飛躍する令和の介護 —

主催

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
愛媛県老人福祉施設協議会

後援

厚生労働省、愛媛県、松山市
社会福祉法人 全国社会福祉協議会
社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
社会福祉法人 松山市社会福祉協議会

参加対象

- ① 全国老協会員施設・事業所の役員及び職員等
- ② 老人福祉・介護事業に関わる行政、社会福祉協議会の役員及び職員
- ③ その他本会が認めた者

参加費

会員：15,000円 (税込、資料代等)
非会員：30,000円 (税込、資料代等)



テーマ

あなたが創る 共生社会

— 飛躍する令和の介護 —

趣旨

2019年度は、“平成”から“令和”へと元号が変わり、我が国にとって、新しい時代の幕開けとなりますが、わたしたち福祉・介護の世界においても大きな転換期を迎えつつあります。

これまでわたしたちは、時代の変化に伴う様々なニーズに多角的に応え、福祉・介護の担い手として、その使命を果たすべく努めてまいりました。しかし、少子高齢化が急速に進行する中、サービス需要の拡大と更なるニーズの多様化は、負担と給付の両面において、国民生活に大きな影響を与える状況となっており、社会保障制度の持続可能性の確保が重要な課題となっています。

特に今後、生産年齢人口の一層の減少が危惧されており、福祉・介護の分野においては、支え手の減少に対応した施策が強く求められているところです。

そうした状況下において、本年4月から新たな在留資格「特定技能」が導入され、多くの外国人材が即戦力として活躍されることが期待されています。また10月からは特定処遇改善加算が創設され、経験・技能のある介護福祉士を中心に新たに評価をされることとなります。

さらに、介護予防・健康づくりの推進や地域包括ケアシステムの構築・深化等についても、国民のニーズを踏まえ、わたしたちは福祉・介護のプロフェッショナルとして、期待に応えていかなければなりません。

千変万化する社会情勢であります。わたしたちの理念は不変です。高齢化や人口減少が進み、人と人の支え合いの基盤が弱まってきている中、現場の最前線で研鑽を積む中から得られた、優れた実践事例や研究成果を全国の仲間と共有し、互いに学び、サービスの質の向上を追求することによって、地域の安心・安全を守る要としての存在感を示し、わたしたちの手で地域共生社会を作り上げていくことが重要です。

令和元年度全国老人福祉施設研究会議(愛媛会議)は、一人ひとりが高齢者福祉の主役として志を一つとし、新時代に向け仲間と共に“飛躍”を目指す場として開催するものです。

10/29

火 18日

全体会プログラム

11:30	12:30	13:00	13:50	14:20	14:40	15:40	15:50	16:50	17:35
受付	オープニング アトラクション	開会式典	基調報告	休憩	講記 演念	休憩	シンポジウム	老施協ビジョン 2035	次期開催県 挨拶

全体会場 松山市民会館 〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

- 11:00 開場(介護機器展)
- 11:30 受付開始
- 12:30～12:50 オープニングアトラクション 松山東雲女子大学・短期大学合同の吹奏楽サークル
「すういんぐがーるず」
- 13:00～13:50 開会式典
- 13:50～14:20 基調報告 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
- 14:20～14:40 休憩 ポスターセッション表彰授与式
- 14:40～15:40 記念講演 **「夢のある人生」**

テノール歌手 **秋川 雅史 氏**



1967年愛媛県西条市生まれ。4歳よりヴァイオリンとピアノを始める。のちに父の指導のもと声楽の道へと転向。国立音楽大学・同大学院にて中村健氏の指導を受けたあと、4年間イタリアのパルマにてデリオ・ポレンギ氏に師事。帰国後ソリストとして数々のコンサートに出演。1998年、カンツォーネコンクール第1位、日本クラシック音楽コンクール最高位をそれぞれ受賞、2005年、アルバム「威風堂々」をリリース。そのアルバムに収録された楽曲「千の風になって」が話題をよび、翌年シングルカット。2006年、第57回NHK紅白歌合戦に初出場。2007年、シングル「千の風になって」でクラシックの歌手として史上初のオリコンシングルチャート1位を獲得。130万枚もの売り上げとなり、年間オリコンチャート1位獲得。同年、第47回日本レコード大賞特別賞受賞。2008年、ゴールドディスク大賞受賞。ゴールデンアロー賞受賞。同年7月、Bunkamuraオーチャードホールにて、美智子皇后台覧コンサート「生きる2008～小児がんなど病気と闘う子供達と共に～」に出演。その年、全国ツアーで動員した観客と同じ28000人分のポリオワクチンを“世界の子どもにワクチンを日本委員会”に寄付し、同委員会より感謝状を授与される。2007年2008年、NHK紅白歌合戦連続出場。2011年、シングル「あすという日が」を発売。同年NHK紅白歌合戦に4回目の出場を果たす。2014年2月 秋川雅史 初のベストアルバムを発売。2014年8月 新国立劇場オペラパレスにてオペラ「カルメン」ドンホセ役で出演。現在、最も実力、人気を供えたテノール歌手として活躍している
- 15:40～15:50 休憩
- 15:50～16:50 シンポジウム **「全国老施協の災害支援体制とその取り組み 平成30年7月豪雨災害」**
- 16:50～17:35 老施協ビジョン2035 ～共生戦略2019:あなたとともに歩むビジョン実現の道程～
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
- 17:35 次期開催県挨拶

分科会	テーマ	会場
第1	伴走型介護の追究—QOL向上に資するケアの実践— <ul style="list-style-type: none"> ▶ 認知症ケア ▶ 自立支援介護(ADL・QOL向上) ▶ 常食化への取り組み ▶ 医療・介護の連携 ▶ 記録の活用とアウトカム評価 ▶ 看取り介護 ▶ 医行為(喀痰吸引、経管栄養等) ▶ 機能訓練(リハビリテーション) ▶ 口腔ケア ▶ 個別ケアの実践 	<p>松山市民会館 国際ホテル松山 東京第一ホテル松山 リジェール松山 TKP松山 カンファレンスセンター</p> <p>※申込状況により、会場を割り振ります</p>
第2	持続可能な特養と社会福祉法人(特養)の経営 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会福祉法人戦略(経営・運営) ▶ 地域における公益的な取り組みの実践 ▶ 財務分析による経営の合理化・適正化 ▶ 経営組織の透明性確保の取り組み ▶ 既存の社会資源との連携や広報戦略 ▶ 効果的な人員配置の工夫やICTによる業務効率化と経営改善 ▶ 地域共生社会の実現に向けた取り組み ▶ 地域資源の利活用(校舎跡地利活用事業など) ▶ 医療・介護の連携による協同組合の活用による経営の効率化 ▶ 保険外サービスの展開 ▶ 地域医療介護総合確保基金を活用した事業展開 ▶ 小規模法人のネットワーク化事業による経営効率化 	
第3	2040年を見据えた人材採用・育成・定着戦略 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 従事者の働きやすい環境づくり ▶ モチベーションにつながるキャリアパスの形成 ▶ 人事評価・労務管理・福利厚生 ▶ ICT・ロボット導入による業務効率化 ▶ 地域医療介護総合確保基金を活用した事業展開 ▶ 外国人材の活用 ▶ 離職・退職防止、定着促進 ▶ 求人・採用戦略 ▶ 腰痛防止やメンタルヘルス ▶ 多職種協働、法人間連携による研修 ▶ 新たな働き方、ワークライフバランス ▶ 地域人材の活用 	
第4	健康寿命の延伸と重度化防止を担う在宅サービス <ul style="list-style-type: none"> ▶ 健康寿命延伸に向けた重度化予防・改善に向けた取り組み ▶ 地域支援事業による地域貢献や認知症予防 ▶ ティサービス・ショートステイ・訪問サービス、地域密着型サービスの効果的な展開 ▶ 多職種協働による機能訓練の充実 ▶ 地域に展開する栄養ケア・フレイル予防 ▶ 認知症ケアや医療依存度の高い方へのケア ▶ ADL改善やICFに基づくケア ▶ 共生型サービスの展開 ▶ 保険外サービスの展開 ▶ 「通いの場」、「生きがい」づくりと社会参加への取り組み ▶ 地域包括支援センターの経営・業務効率化 ▶ 居宅介護支援事業所と医療機関等との連携 	
第5	入居者とともに地域を創る軽費・ケアハウスの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ▶ 入居者の健康寿命の延伸・フレイル予防 ▶ 「通いの場」、「生きがい」づくりと社会参加への取り組み ▶ 食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み ▶ 認知症ケア ▶ 被虐待高齢者など緊急時の受け入れ ▶ 重度者への対応や医療との連携 ▶ 特定施設入居者生活介護の経営 ▶ 入居者の確保に関する取り組みや広報戦略 ▶ 地域支え合いセンターや老人介護支援センターとの連携 ▶ 中間的就労の取り組み ▶ 入居者による支え合い(エンパワメント)や地域へのアウトリーチ ▶ 地域支援事業による地域貢献や認知症予防 ▶ 他用途への一部転用や無料定額宿泊所の展開 ▶ 生活困窮者自立支援法等に関する取り組み 	
第6	養護老人ホームにおける福祉と尊厳の追求 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 入居者の健康寿命の延伸・フレイル予防 ▶ 「通いの場」、「生きがい」づくりと社会参加への取り組み ▶ 食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み ▶ 認知症ケア、高齢障害・精神障害・慢性疾患(難病を含む)の方への対応 ▶ 地域支援事業による地域貢献や認知症予防 ▶ 介護サービスや一般型特定施設の経営 ▶ 市町村等行政との円滑な連携と入所者確保に向けた取り組み ▶ 中間的就労の取り組み ▶ 老朽化・大規模修繕等の取り組み ▶ 入居者による支え合い(エンパワメント)地域へのアウトリーチ ▶ 他用途へ的一部転用や無料定額宿泊所の展開 ▶ 生活困窮者自立支援法等に関する取り組み ▶ 地域移行に向けた取り組み ▶ 地域生活定着支援センターや矯正施設等との連携 	
先駆的特別報告会場	「介護ロボット」及び「ICT」の導入・利活用による業務改善と負担軽減に関する検証・研究 <p>※老施協総研調査研究助成事業対象者による先駆的特別報告のみの会場となります</p>	

○ 9:30～(1発表15分) 実践研究発表

○ (1報告30分) 研究者による先駆的特別報告

※ 老施協総研調査研究助成事業により実施した研究事業を報告します。

報告 1	介護現場における雇用形態の多様化と介護人材対策に関する研究 一介護現場における労働者派遣の実態調査から— 島根大学 法文学部 教授 宮本 恭子 氏
報告 2	ロボットメディアによる認知症高齢者の対話指導と臨床倫理 大阪大学 先導的学際研究機構 共生知能システム研究センター 特任講師 山崎スコウ 竜二 氏
報告 3	伴走型介護の概念に基づいたQOL向上のための生活プログラム自動生成・実施結果データベース化システムの開発 東海大学 情報理工学部 コンピュータ応用工学科 教授 浅川 毅 氏
報告 4	介護の場面別声掛けデータを活用した、非日本語母語話者の介護職の声掛けの習得支援 愛知学院大学 日本語教育センター 講師 田辺 淳子 氏
報告 5	伴走型介護による施設内看取りの推進にむけた「過去の看取り事例の再分析調査」 公立大学法人 岩手県立大学 総合政策学部 教授 倉原 宗孝 氏
報告 6	装着型ロボットスーツHAL®の導入・利活用による業務改善と負担軽減に関する検証・研究 一夜勤・早朝業務/入浴業務に注目して— 社会福祉法人 崇徳会 高齢者総合ケアセンター マザーアース 施設長 野溝 守 氏
報告 7	画像認識解析を用いた記録項目の選定と記録媒体のレイアウトに関するモデル化 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 理学療法学科 助教 浅井 剛 氏
報告 8	養護老人ホームにおける”生活ルール”の形成と生活支援 東海大学 健康学部 健康マネジメント学科 教授 中野 いずみ 氏
報告 9	介護業務におけるセンサーを用いた行動認識 社会福祉法人平成会 介護老人福祉施設プライエム横尾 施設長 高本 絵美 氏
報告 10	機械学習による要介護等高齢者の介護サービス内容の類型化(個別サービスパッケージ)に関する研究 地域ケア経営マネジメント研究所 副所長 佐藤 寛明 氏
報告 11	教育・研修内容が介護職員の離職率に与える影響 一従来型施設とユニット型介護老人福祉施設の比較— 浦和大学 総合福祉学部 准教授 田中 康雄 氏
報告 12	特別養護老人ホームにおける「赤外線見守りシステム+介護コミュニケーションロボット+眠りスキャン」導入が 夜間介護業務改善に及ぼす効果の検討 社会福祉法人東京聖新会 フローラ田無 施設長 尾林 和子 氏
報告 13	介護ロボット(AIによる言語解析)開発による介護記録記載の負担軽減への取り組み 社会福祉法人 野の花会 アルテンハイム加世田 法人本部 クリニック課 課長 楠元 寛之 氏
報告 14	特別養護老人ホーム入居者への人生の最終段階における支援が遺された家族の複雑性悲嘆に与える影響 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野 教授 上別府 圭子 氏
報告 15	利用者 QOLと介護事業の生産性向上を目的とした、自立支援マネジメントと介護現場を 可視化するICTソフトとの連動介入アプローチの有益性の検討 社会福祉法人春秋会 リエゾン長崎 理事長 川副 巧成 氏
報告 16	五島における福祉・介護の協働ネットワーク(バンク)の創設に関する研究 長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 社会福祉学科 専任講師 波名城 翔 氏
報告 17	「ICT」の導入・利活用による業務改善と負担軽減に関する検証・研究 社会福祉法人 緑虹会 特別養護老人ホーム 虹の園 介護ロボット-ict研究チーム 副施設長 倉井 則裕 氏
報告 18	『バディ制度』を用いた介護技能実習生への取り組み ～バディ制度で介護技能実習生が地域で共生しながら、技能実習を受けられるしくみ作り～ 公益社団法人 トレーディングケア 代表理事 新美 純子 氏
報告 19	進化したセンサー「A.I.Viewlife」の導入効果検証、そして施設でも家庭でもご本人へもご家族へも全てに安 心を提供するロボットの確立 一「いつでも」「どこでも」「だれでも」安心できる見守りロボットへ— 社会福祉法人 青森社会福祉振興団 理事長 中山 辰巳 氏
報告 20	介護レクリエーションコンテンツ「ジオラマすごろく回想法」の中長期運用における効果検証と改善 金沢工業大学 基礎実技教育課程 講師 浦 正広 氏

○ 14:50～15:20(1報告30分) 特別報告

※各分科会(分散会)のテーマごとに、全ての会場で有識者等による特別報告を行います。

○ 15:20～15:30 審査結果発表・閉会挨拶・終了

実践研究・ポスターセッションの 発表者募集要項

参加・発表申込 web サイトからお申込みください

◆あなたの発表をおまちしております◆

先進事例として紹介されるケアについて、既に皆さんの施設で取り組まれているということはありませんか。皆さんが日常的に取り組まれているケアは、諸先輩方が「利用者のために」と努力を積み重ねてきた、多くの“工夫”や“気づき”のうえに成り立っています。介護現場で働くプロとして、それぞれの職場のケアを客観視して数値化、数量化、言語化していくことで、理論・根拠に基づいたケアとして発表してください。仲間の工夫や気づきを共有化することで、高品質・高機能なケアの標準化に繋げていきましょう。

実践研究発表 応募の流れ

1

web サイトでの
新規ユーザー登録

2

研究会議への
参加申込

3

実践研究
発表申込

締切 9月17日(火) まで(参加・発表申込 web サイト)

※申込締切以降の発表申込並びに抄録原稿の差し替えは受け付けません

抄録原稿の提出について

- ① 抄録原稿は、研究会議要覧に掲載し参加者に配布します。発表者は必ず下記の要領に従い、ご提出ください。
- ② 発表内容が法律違反といった事がないよう、事前に発表者の責任で確認を行ってください。また、現在規制されているが、利用者のために必要といった内容については、規制緩和・制度提案の形で積極的にご発表ください。
- ③ 利用者の氏名・写真等を掲載する場合、個人情報保護法の観点から、必ずご本人またはご家族の承諾を得てください。
- ④ 抄録原稿の提出は、[参加・発表申込 web サイト上へのアップロード](http://www.mwt-mice.com/events/js2019ehime)をお願いいたします。
<https://www.mwt-mice.com/events/js2019ehime>
(参加・発表申込ウェブサイト)
- ・本システムでは①新規ユーザー登録(メールアドレスやパスワード等の情報登録)②研究会議参加申込③実践研究発表申込④抄録原稿ファイルアップロードの手順で抄録原稿の提出を行っていただけます。
- ・ログインに必要なメールアドレスとパスワードは、大切に保管してください。
- ⑤ 研究会議終了後、全ての発表者の抄録原稿を全国老施協ホームページで公開します。

抄録原稿の書き方

※以下、書き方注意事項を必ず守ってください

- ① 様式：全国老施協ホームページ(研修・セミナー)又は、参加・発表申込 web サイト上から「[抄録原稿テンプレート\(様式\)](#)」をダウンロードできます。<http://www.roushikyo.or.jp/> (全国老施協ホームページ)
- ② 抄録原稿は1発表(演題)1ページです。[図や表を使用する場合も1ページ内に収めてください。](#)
- ③ 抄録原稿は手書きではなく、必ずパソコンを用いてください。
- ④ 用紙は、[A4サイズ](#)、[白黒印字](#)、[文字の大きさは9ポイント](#)。2段組(左右の2段)とし一行を全角22文字とします。[行数は1段最大34行\(1段最大748字、2段で約1,496文字\)](#)で校正してください。
- ⑤ 書体・字の大きさ、余白など、[様式のページ設定を変更せずに](#)、記載例にしたがって作成してください。
- ⑥ 取組みと最も関係あるキーワードを [3つ](#)、[重要度順に記載](#)してください。
- ⑦ 本文は原則として<取組み課題><具体的な取組み><活動の成果と評価><今後の課題><参考資料など>で構成し、章の区切りにこれらの表題をセンタリング(中央揃え)で入れてください。
- ⑧ 箇条書きにできるところは、なるべく箇条書きでご記入ください。
- ⑨ 抄録原稿が期限までに提出されない場合、当日発表データを作成されても当日発表はできませんので、必ず期限までにご提出ください。

ポスターセッション 応募の流れ

1

web サイトでの新
規ユーザー登録

2

研究会議への
参加申込

3

ポスター
セッション申込

締切 9月17日(火) まで(web サイト)

ポスターの作り方について

- ① ポスターの規格は縦 120 cm、横 90 cm
- ② レイアウト自由
- ③ タイトル【演題(副題を含む)、都道府県名、施設名、職種名及び発表者名】は必ず明記してください。
- ④ 研究会議終了後、ポスターは[返却致します。](#)

分科会での実践研究発表ならびにポスターセッションの発表者を次のとおり募集いたします

- ① 応募資格：本研究会議の参加者であること **【発表者（共同研究者も含む）は必ず本研究会議へお申込ください】**
- ② 発表件数：同一施設から複数のお申込みも歓迎いたします。
なお、同一発表者の発表は一つに限らせていただきます。
- ③ 発表認定状：発表者全員（1発表につき1枚）に、全国老人福祉施設協議会より発表認定状を贈呈します。
- ④ 分科会発表評価：各分科会審査員により、特に優秀な発表を選出・表彰いたします。
審査基準は、①企画力（取組みに対して研究方法が妥当であるか）、②発表力（発表自体に魅力的な工夫が凝らされ、質疑があった際に適切に対応できたか）、③応用力（発表内容が参加者にとって有益であり、幅広い施設・事業所においても同様の効果が得られるか）の観点から審査いたします。
- ⑤ 費用：参加費・旅費・宿泊費・資料作成費・郵送費等、各自のご負担となります。
- ⑥ 発表申込方法：本会ホームページから参加・発表申込 web サイトに移動し、申込を行ってください。※ FAX 申込不可
- ⑦ 発表数：**一つの分科会での発表者数に限度があり、その数を超える応募があった場合は、申込みの先着順といたします。また、申込状況・発表内容により、主催者の判断で分科会を変更いただく可能性があることを予め承知おきください。**

4 抄録原稿ファイルアップロード

5 研究会議データ登録会場にて当日発表データの登録

10月29日(火)

各分科会会場で発表

10月30日(水)

当日発表データの作成について

- ① 抄録原稿とは別に、発表データを作成してください。
- ② データは **Microsoft Powerpoint 2007 以降のバージョン**とします。また、Macintosh 等で作成したデータは対応できません。
- ③ スライド枚数に制限はございませんが、発表時間を踏まえ **15枚程度**が適当となります。(スライド1枚1分)
- ④ 研究発表は、介護従事者としての専門性を高めるためのものです。説明は客観的なデータを用いましょう。
- ⑤ 発表用データの当日資料配布は致しません。文字やグラフは大きく、内容は簡潔に読みやすいものにしましょう。
- ⑥ 発表する研究や取組みが、調査研究中または継続中で、完了していなくてもかまいません。
- ⑦ 研究会議終了後、特に優秀な発表者の当日発表用データを全国老協ホームページで公開します。

当日発表の方法について

- ① 前日データ登録会場にてご登録された、データを搭載したパソコンを準備しますので、発表ご本人による操作をお願いします。
- ② 発表は **1人当たり15分（発表者の入れ替え時間を含む）**です。各分科会会場でのスケジュールにより、**質疑応答の時間を設ける場合があります。**
- ③ 発表が制限時間を超えても終わらない場合は、審査員の判断で中断いただく場合があります。
- ④ 施設説明等（施設所在地がどこにあるか等）は極力省略してください。
- ⑤ 抄録以外に発表内容に関連する資料を必要部数を発表者自身で印刷して持参し、配布することは差支えありません。ただし、発表中は会場照明を落としますので、手元の配布資料は見えにくくなります。

当日発表データの登録について ※昨年度から登録手順が変更となっています。

- ① 当日発表データの登録が各自必要となりますので、必ず発表データが保存された記録媒体をお持ちください。
- ② 登録日時・会場は以下のとおりとなります。
日時：10月29日(火) 11時前後～夕方頃（時間は予定） 会場：松山市民会館1階「練習室1」
- ③ 時間により混雑することが見込まれますので、余裕を持ってお越しください。
- ④ 登録会場での発表データの修正は原則認めません。
- ⑤ 発表当日にデータ登録は実施しませんので、必ず上記日時に完了してください。

4 ポスターの提出

締切 **10月11日(金)**
必着（郵送）

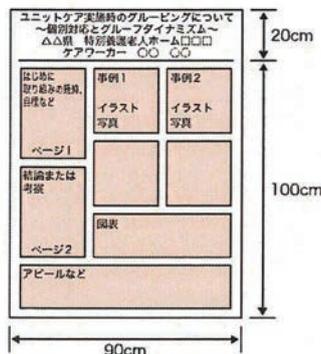
5 研究会議において展示

10月29日(火)
～30日(水)

ポスター
送付先

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7階
全国老人福祉施設協議会
大会・フォーラム委員会 担当
Tel: 03-5211-7700

●ポスターセッション例



タイトル表示の位置

文章、イラストや写真、図表、グラフ、アピールなどは自由です。

掲示するスタイルやディスプレイの方法も自由です。

発表や報告の内容を分かりやすくまとめてください

会場マップ

全体会場「松山市民会館」 〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL：089-931-8181

出発地	所要時間
松山空港から	松山空港 …… 松山市駅 (伊予鉄) …… 松山市民会館 (リムジンバス/約25分) (徒歩/約10分)
JR松山駅から	JR松山駅 …… JR松山駅前 (伊予鉄) …… 南堀端 …… 松山市民会館 (伊予鉄市内電車/約5分) (徒歩/約3分)

分科会会場

松山市民会館	〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL：089-931-8181	<松山市駅より徒歩 10分>
国際ホテル松山	〒790-0001 愛媛県松山市一番町 1-13 TEL：089-932-5111	<松山市駅より伊予鉄市内電車 10分>
東京第一ホテル松山	〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町 6-16 TEL：089-947-4411	<松山市駅より徒歩5分>
リジェール松山	〒790-8555 松山市南堀端町2番地 3 JA 愛媛 8F TEL：089-948-5631	<松山市駅より徒歩5分>
TKP松山カンファレンスセンター (ホテルマイステイズ松山)	〒790-0067 愛媛県松山市大手町1丁目 10-10 ホテルマイステイズ松山 1F/2F/3F TEL：050-3803-6478	<松山市駅より徒歩 10分>



地図記号	ホテル名
①	道後山の手ホテル
②	大和屋本店
③	ダイワロイネットホテル松山
④	カンデオホテルズ松山大街道
⑤	松山東急REIホテル
⑥	国際ホテル松山
⑦	ホテル パティオ・ドウゴ
⑧	ホテルマイステイズ松山
⑨	松山シティホテル

地図記号	ホテル名
⑩	東京第一ホテル松山
⑪	スカイホテル
⑫	ネストホテル松山
⑬	ホテルクラウンヒルズ松山
⑭	ホテルサンルート松山
⑮	プレミアイン松山
⑯	東横イン松山一番町
⑰	ホテル勝山 The Second
⑱	アビスイン道後・松山

地図記号	ホテル名
⑲	松山ニューグランドホテル
⑳	ホテルNo.1松山
㉑	ホテルアビス松山
㉒	ホテルトップイン
㉓	ホテルチェックイン松山
㉔	ホテルニューカジワラ
㉕	スーパーホテル松山